

講義名	専門基礎演習(人)			授業形態	
担当教員	栗田 真樹	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

1年生での基礎的な学修を受けて、2年生前期では大学の専門的な学修に向けての基礎を築くための演習を行います。この専門基礎演習は、心理社会学科教員が担当します。心理学関連領域や社会学関連領域のなかで具体的なテーマを設定し、それについて調べ(文献を読み、情報を集める)、議論をし、発表し、レポートを作成する方法を学びます。これらの方法は、大学における専門的な学修を進めるうえで必要なものです。従って、必ず履修していただきたい科目となります。

演習で扱うテーマは演習担当者によって違いますが、どの演習クラスに所属しても「テーマについて調べ、議論し、発表し、レポートを作成する」力を身につける点で共通しています。演習の内容は、授業計画を参考にしてください。また、内容の詳細については、初回授業時に担当者から説明がありますので、よく理解したうえで受講してください。

到達目標

- ・自演習のテーマにもとづいて、グループワーク、ディスカッションなどの協働作業を行うことができる。
- ・文献調査、情報収集、調査、レポート作成、発表(プレゼンテーション)などの学習方法を身に付けることができる。
- ・自分の志望に応じて、研究演習の選択を適切に行うことができる。
- ・自己の将来について考えることができる。

提出課題

毎回、課題を課す。内容は授業中に指示する。授業は累積的に進めるので、すべての課題を提出することを求める。また、最終課題として、授業内での10分程度のプレゼンテーションとその提示資料、配布資料の作成を課す。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

授業中に指示する。

評価の基準

授業への参加度、課題の提出状況、最終課題を総合して評価する。

履修にあたっての注意・助言他

2年の前期は、初年次教育を受けて、コースを基礎とした専門教育が本格的に始まり、「研究演習」の選択も始まるなど、特に重要な時期である。初年次の進展、挽回などは人によって異なると思うが、この時期をどう過ごすかによって、今後の大学生活、ひいては卒業後の人生も大きく変わってくると言っても過言ではない。1時間限の授業であるが、規則正しい生活習慣で学修に取り組んでほしい。

教科書

・ 特には指定しない。

参考図書

・ 特には指定しない。

その他

- 授業計画**
1. 演習のイントロダクション
予習：事前配布プリントによる学習(28時間)
復習：授業内容の学習(28時間)
 2. プレゼンテーション
予習：事前配布プリントによる学習(28時間)
復習：授業内容の学習(28時間)
 3. グループワーク
予習：事前配布プリントによる学習(28時間)
復習：授業内容の学習(28時間)
 4. 研究演習合同ガイダンス1
予習：事前配布プリントによる学習(28時間)
復習：授業内容の学習(28時間)
 5. 研究演習合同ガイダンス2
予習：事前配布プリントによる学習(28時間)
復習：授業内容の学習(28時間)
 6. グループワークのまとめ(KJ法的方法)
予習：事前配布プリントによる学習(28時間)
復習：授業内容の学習(28時間)
 7. 資料の収集方法(文献研究、ネット検索)
予習：事前配布プリントによる学習(28時間)
復習：授業内容の学習(28時間)
 8. 資料のまとめ方
予習：事前配布プリントによる学習(28時間)
復習：授業内容の学習(28時間)
 9. レポート作成に向けて1(Word)
予習：事前配布プリントによる学習(28時間)
復習：授業内容の学習(28時間)
 10. レポート作成に向けて2(PowerPoint)
予習：事前配布プリントによる学習(28時間)
復習：授業内容の学習(28時間)
 11. プレゼンテーションの準備1(Word)
予習：事前配布プリントによる学習(28時間)
復習：授業内容の学習(28時間)
 12. プレゼンテーションの準備2(PowerPoint)
予習：事前配布プリントによる学習(28時間)
復習：授業内容の学習(28時間)
 13. プレゼンテーション1(第1回分担任者 5名予定)
予習：事前配布プリントによる学習(28時間)
復習：授業内容の学習(28時間)
 14. プレゼンテーション2(第2回分担任者 4名予定)
予習：事前配布プリントによる学習(28時間)
復習：授業内容の学習(28時間)
 15. まとめ(発表の準備を含む)

授業形態(アクティブ・ラーニング)

<input type="radio"/> ア：PBL(課題解決型学習)	<input type="checkbox"/> イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における人びとの生活や文化などについて専門的な知識を有し、さまざまなことからの社会における役割や意義を理解し、考えることができる。社会の問題や人びとの考え方を捉えることができ、社会貢献・提学連携、インターンシップなどで現実社会との接点を持ち、「社会人」として活躍できる基礎的な能力を身につけ、より良い社会を実現するための新しい社会、文化を創出することができる。人間の精神機能と心理学の研究法に関する基礎的知識を有し、さまざまな場面に直面する人間の心理と行動を科学的に分析し予測することができる。コミュニケーション能力と、消費者と援助を求めるとの人の心理と行動の知識を有し、ビジネス場面で援助場面でも心理学を応用することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

教材はキャンパスクロスでもPDF等で配信する予定。
アプリとしてはMicrosoft Teams、Microsoft FormsとRespon等のクリッカーが利用できるように設定すること。これらについては授業中に解説指示する。

実務経験の有無及び活用

備考